



BETHEL 通信

2025 年 9 月号（第 266 号）

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 TEL089-925-5000
ホームページ <https://www.bethel.or.jp/>

私と息子と剣道と

ベテル病院に入職して18年が過ぎました。お陰様で結婚、出産、子育てをこの病院で経験し、仕事との両立で毎日バタバタと時間が過ぎていきます。

私の息子は小学校1年の時、通学の見守りとして一緒に歩いてくれるおじいさんに、毎日「剣道せんか?」と誘われていました。のんびり屋で運動センスのかけらもない息子が2年生で剣道会に入会することになりました。剣道は「礼に始まり礼に終わる」と礼節についての指導を受け、竹刀を振り、裸足で摺り足の練習をひたすら続ける面白くない練習に何度も仮病で逃げ出そうとすることもありました。そんな息子ですが親は少しでも強くしたい、「センスがないなら倍練習をしないとうまくはならん。」と教え、朝練や自主練に連れて行きます。勝てる喜びを味わってほしいと思うのですがうまくいかず、一生懸命頑張っているのに勝てない息子をだんだん情けないと思うと同時に、かわいそうに思えてきて試合を見守るのも辛い時期もありました。反抗期を迎え争うこともありましたが、そんな親からの風当たりが強いのに剣道を嫌いにならず、今も高校で毎日、剣道三昧頑張っています。勝利は遠いです。しかし、続けることで剣道を通して仲間と切磋琢磨し視野の広い人間形成がなされている。そう思い願うことにして送り出します。

その剣道会で練習前に呼称する誓いの言葉があります。

- 一つ いつも元気な声で返事挨拶をしよう。
- 一つ いつも感謝の気持ちをもとう。
- 一つ 剣道を正しく学び立派な人間になろう。



私は「剣道」の所を自分の仕事「看護」に置き換えて心で唱えます。それが不思議と頑張るパワーになる良い言葉です。

剣道は基本が大事。それは生活するうえでも大切なことだと思います。自分勝手に毎日楽しそうに過ごしている息子から学ぶこともあります。息子の前向きな姿勢に、おっちょこちょいな私も失敗を笑いに変えて今日も明るく母ちゃん頑張ります。

(2階病棟西フロア看護主任 岡本 久恵)



佐渡金山の驚くべき工夫・技術・そして悲哀

8月上旬に家族と佐渡旅行に行き、『史跡佐渡金山』も見て来ました。時折雨が降りつつかなり蒸し暑い中、金山跡の坑道内に入ると薄暗くひんやりと 10℃前後で半袖では肌寒いぐらいでした。



坑道内の労働者の細かな動きと音声まで再現したジオラマはとてもありアルでした。

1601年に3人の山師によって開山され、1989年の操業停止まで388年間採掘が続けられた相川金銀山。主要金鉱脈は8本あり、東西3000m、南北600m、深さ800mに広がっていました。388年間に産出した金は78トン、銀は2330トンで日本

最大の金銀山でした。佐渡は幕府直轄地となり江戸幕府の財政の大きな支えとなり、当時のオランダの東インド会社等との取引にも佐渡の金が使われました（現在も佐渡印の金貨がオランダに残っています）。開国に至る19世紀中頃までは採鉱から選鉱、製錬・精錬、小判鑄造まですべての工程を島内で手作業で行っていた事などが高く評価され、2024年7月、世界文化遺産に認定されました。

当時、坑道内を掘削するとどうしても地盤から水がじわじわ浸み出し坑道内に貯まってくるのでその水を汲みだす事が死活問題になります。その対処法として三つのことに驚きました。一つは「水上輪（すいじょうりん）」といってアルキメデスポンプの原理を使用した、竹筒の内部に螺旋状の板を取り付け筒が回転することにより水を汲み上げる排水具です。二つ目は「南沢疎水道」という海へ向かって掘られた全長1kmの地下排水路です。鑿（たがね）と槌（つち）だけの手掘りで5年の歳月をかけて掘削しました（現在も残っています）。佐渡金山は海拔下までどんどん掘り進めた結果、多量の湧水があり、人力で排出を行う極めて重労働の水替え人足が必要でした。募集では足りなくなり、京・大阪や江戸から無宿者が強制的に連れて来られ人足として働かされていたという事実が三つ目です。

佐渡金山の繁栄・幕府の栄華はこれら縁の下の力持ちがあったからこそ成り立っていたのだと実感し、社会の縮図を垣間見た思いでした。



（ホスピス・内科医師 佐々木 徹）

放射線防護の三原則

ICRP（国際放射線防護委員会）は、放射線防護の三つの基本原則として以下の 3 原則を導入しました。

1. 行為の正当化

放射線を使う行為は、もたらされる便益が放射線のリスクを上回る場合のみ認められるという大原則です。被ばくを心配して検査を受けなかったために、病気の発見が遅れることは避けなければなりません。



2. 防護の最適化

社会的・経済的要因を考慮に入れながら合理的に達成できる限り低く被ばく線量を制限することです。放射線を伴う行為のメリットが放射線のリスクを上回る場合は、合理的に達成可能な限り被ばく量を減らして、放射線を利用します。この原則を

アララ

ALARA(As Low As Reasonably Achievable)の原則 と呼びます。

当院では、診断参考レベル(DRL)といわれる医療被ばくの適正化に使用される指標をもとに最適な条件で検査を行い、放射線による被ばくを必要最小限にしています。

3. 個人線量限度の適用

線量限度は、管理の対象となるあらゆる放射線源からの被ばくの合計が、その値を超えないように管理するための基準値です。線量限度を超えなければそれで良いのではなく、防護の最適化によってさらに被ばくを下げる努力が求められます。このことから、線量限度はそこまで被ばくして良いという値ではなく、安全と危険の境界を示す線量でもありません。

次回は個人線量限度の適用についてより詳しく解説します。

参考資料

環境省「放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料（平成 26 年度版）」

第 1 章 放射線の基礎知識と健康影響

（ 放射線課 高橋 祐介）

外来診療日のお知らせ

◎ 豊田 泰孝 医師（精神科・心療内科）

9月 3日（水） 9月17日（水）

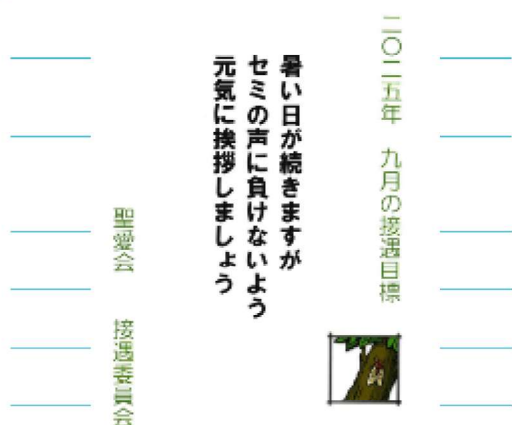
◎ 9月の休診

9月12日（金） 阿部 康範 医師（えんげ外来）



松山ベテル病院では、接遇目標・医療安全推進目標をかかげています

9月 接遇目標



接遇委員会

9・10月 医療安全推進目標

9・10月医療安全推進目標



医療安全委員会

新人紹介

しらいし こうた
白石 倖太



配属部署：リハビリテーション課

職 種：理学療法士

抱 負：一日でも早く皆さまの力になれるよう頑張ります。よろしくお願いします。

すぎもと ともみ
杉本 朋美



配属部署：リハビリテーション課

職 種：理学療法士

抱 負：いつも笑顔で丁寧に患者さまと向き合っていきます。よろしくお願いします。

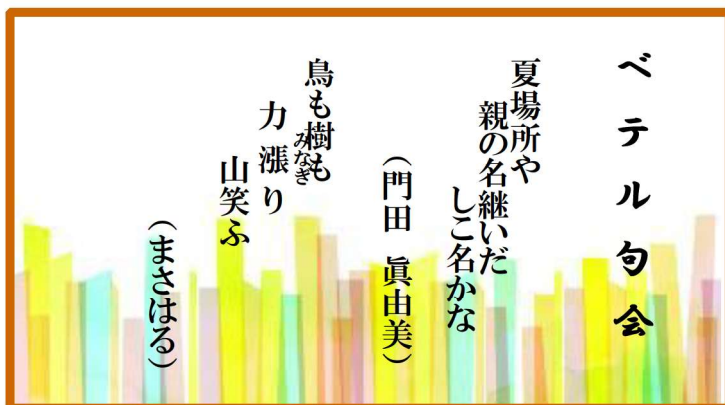
あそう もな
麻生 桃菜



配属部署：2階病棟西フロア

職 種：介護職

抱 負：介護を通して学びを得て一日一日を大切に精進していきます。よろしくお願いします。



- ・ 投句箱を外来・各病棟に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。
- ・ 『ベテル通信』について、ご意見やご要望を「ご意見箱」へお寄せください。
- ・ 掲載中の写真についてはご本人、ご家族の許可を得ています。

発行日 2025年8月25日